

令和6年 第8回森町教育委員会 会議録

日 時：令和6年8月29日（木）10：00～

場 所：森町福祉センター（森町公民館） 1階 中会議室

出席委員：毛利教育長・三輪委員・長瀬委員・吉川委員・古川委員

出席者：坂田学校教育課長

藤嶋学校教育課参事

名生学校教育課参事

須藤社会教育課長（兼）森町公民館長（兼）図書館長

木村体育課長（兼）体育館長（兼）青少年会館長（兼）生涯学習課長

敦賀森町学校給食センター長

長瀬森町図書館次長

吉田学校教育課学校教育係長

西川学校教育課総務係長

岩本森町公民館管理係長（兼）事業係長

加藤社会教育課社会教育係長

葛葉体育課体育係長

山谷生涯学習課生涯学習係長

小林森町図書館奉仕係長

石井学校教育課総務係主事

署名委員：長瀬委員・吉川委員

報告事項：報告第1号 人事異動等について

報告第2号 森町複合施設建設の進捗状況について

協議事項：議案第1号 令和6年度一般会計補正予算について

議案第2号 令和6年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」への
市町村別結果の掲載について

議案第3号 教育委員会の令和5年度事務事業の点検・評価報告について

（毛利教育長）

ただ今から令和6年第8回森町教育委員会を開催します。開会に先立ちまして会議録署名委員の指名を行います。本日の会議録署名委員に長瀬委員と吉川委員を指名いたします。よろしくお願いいたします。

まず私の行政報告で、1ページをお開きください。まず7月29日の「高校配置計画」と8月19日の「函館圏域高校の在り方検討会議」ですね、これ実はメンバー的にはほとんど同じなんです。首長あたりも入って、これからのこの圏域というか道南の高校をどういう風にしていったらいいだろうかという相談をずっと継続的にしてますけども、森高校については、先般お知らせした通り地域連携校という形で令和7年度から再スタートというか、形

を変えて継続ということで、これで数年は大丈夫かなという風に思っています。そういう会がこれからも続いていきます。それから7月30日から8月1日まで静岡県森町と小中学生の交流ということで、現地の方に鷺ノ木小学校の西尾校長を団長にして行って参りました。暑かったんです、とても。それでプログラムをちょっと変えながら、あまり屋外の活動をしすぎないようにということで。でも子供たちは頑張って元気に向こうで交流をしてきてくれました。それから7月30日の3行目に書いてある複合施設の関係で今あちらこちらと説明会の機会を持てますけども、今日報告事項の中に複合施設の事を含んでいますので、後ほど社会教育課の須藤課長の方から詳しくお伝えしたいと思います。それから8月18日「玉川大学北海道プロジェクト」ということでこれももうかなり年数になりますね。こちらに学生の授業の一環としてこちらの方に来て、それで森町の子どもを募って、子供達と学生が交流したり、それから学生が考えたプログラムで森町のことをもっとよく知ったりというような取り組みをしてもらっています。それからあとは飛んでですね、8月27日その前の週の23日から、これも恒例になりました「国際交流の集い」ということで、森町の方にも留学生3人ほど今回見えています。今週いっぱい滞在して、ホストファミリーは2件なんですけども、東京に戻るといった段取りになっています。あと校長会、教頭会を経て、今日の教育委員会を迎えています。以上です。何かもう少し詳しく聞きたいことがございましたらお願いします。よろしいでしょうか。

(教育委員一同「はい」の声)

(毛利教育長)

はい、それではこれから報告第1号「人事異動等について」に入りますけれども、この点については秘密会とさせていただきます。それでは報告第1号「人事異動等について」お願いします。

(毛利教育長)

報告第2号「森町複合施設建設の進捗状況について」です。

(須藤社会教育課長(兼)森町公民館長(兼)図書館長)

はい、私の方から報告第2号「森町複合施設建設の進捗状況について」説明させていただきます。別冊で「森町複合施設建設候補地に係る住民説明会 令和6年7月30日」と書かれた資料がお手元にあるかと思います。こちらはですね、先日開催しました住民説明会の資料となりますけれども、こちらを使用しまして複合施設建設の進捗状況を説明させていただきます。それでは資料1ページをご覧ください。当町の役場本庁舎の本棟部分及び森町公民館は両施設とも建設から50年以上が経過しておりまして、耐震基準を満たしておらず、安全性に課題があります。また老朽化による建物の傷みも徐々に見られ、特に森町公民館で

は近年講堂の天井からの雨漏りがたびたび発生しまして、利用される方には大変ご不便をおかけしているところであります。公民館の雨漏りにつきましては、都度修繕対応を行っておりますが、根本的な解決には至っておらず、今後も両施設の継続利用には修繕や改修に関する費用が見込まれる状況です。また役場庁舎・公民館共にエレベーター等の設備が無く、バリアフリー化への対応にも懸念があります。このため、町民の皆さんが安全かつ快適な施設が利用できるよう、併せて健全な施設運営や配置の最適化に向けた検討を進めて、令和4年度より公民館、役場庁舎の方針を軸とした複合施設整備のための本格的な検討に着手しました。資料2ページをご覧ください。これは施設整備のスケジュールになっております。複合施設整備につきましては、令和4年度に施設の更新を行うことを決定いたしました。きっかけとなりましたのは、たびたび発生している公民館の雨漏りなんですけれども、根本的に解決するための費用を算出したところ莫大な費用がかかることが判明したことによります。また仮にその費用をかけて屋根の改修工事を行ったとしても、冒頭説明しましたように建設から50年以上が経過しておりまして、耐震性やバリアフリーなどさまざまな課題を抱えている施設を今後も維持しているのか見当を重ね、施設の更新に至ったものであります。この方針のもと、令和5年度には基本構想策定業務に着手しまして、町民アンケートやワークショップを行いまして、町民の皆さんが新施設に期待することなどの意見聴取を行い、基本構想を策定致しました。そして今年度から来年度にかけて基本計画を策定し、令和8年度には基本設計、令和9年度に実施設計を行ない、令和10年度から2年または3年かけて建設工場を実施しようとするものです。資料10ページをご覧ください。10ページから12ページにかけてなんですけれども、公民館、役場庁舎検討部分の課題は共通しておりまして、大きく4つあります。1点目は老朽化の問題、2点目は耐震性の不足、3点目は狭あい化・バリアフリーの未整備、4点目は冷房設備の未整備です。詳しくはそちらの資料を後程ご覧頂ければと思います。続いて13ページをご覧ください。なぜ施設を複合化して整備するのかということについて説明いたします。従来の公共施設整備は、それぞれの用途に合わせて個別に建設するのが一般的でしたが、近年は人口減少や厳しい財政運営など、地方を取り巻く情勢を背景に小規模自治体は公共施設を複合化して整備する事例が多くなっています。複合化のメリットですが、公共施設をそれぞれ個別に整理しようとする場合、建物はもちろん電気設備、機械設備、駐車場などそれぞれの施設で個別に整備する必要があります。施設を複合化すると、これらの設備を共用することができ、コンパクトで建設工事費やその後の維持管理を圧縮することが期待できます。例えば役場庁舎の駐車場ですと、利用は来庁者、職員ともに平日の午前8時半から午後5時15分までが多く、一方公民館は大規模なイベントなどは土日祝日ですとか平日の夜間と、役場と公民館の利用する時間帯が違いますので、駐車場は共用化によりかなり省スペース化する事が出来ると考えております。資料14ページをご覧ください。これまでの事業計画についてですが、施設の方針を決めた令和4年度には候補地のひとつである地域活性化広場西側のエリアについて、埋蔵文化財包蔵地に係る試掘調査を実施しました。また12月には職員を対象として

ワークショップを行い、庁舎改築の観点から意見交換を行いました。令和５年度には複合化に関する町内施設の現状と課題の整理や建設場所及び施設配置等について検討を行いながら、町民アンケートや町民ワークショップを通じて町民の皆さんの施設整備に対する意向把握を行ない、方針等の策定と併せて施設の規模、機能、スケジュールなどを検討し、森町複合施設整備基本構想を策定しました。資料１５ページをご覧ください。先ほどスケジュールのところでも説明いたしましたが、基本計画では昨年度策定した基本構想をもとに施設整備に向け、施設の機能、規模や施設配置、そして建設用地を決定いたします。また建設にかかる費用の算定は年度の途中に行ってまいります。資料１７ページをご覧ください。これらの資料は町が建設候補地として選定した５か所の配置図となっており、それぞれ①から⑤まで番号を振ってあります。当初町では町有地での整備を検討し、空き地であること、面積が確保できること、町の中心エリアであることという３つの基準に該当した候補地として、①国道５号線沿いの給食センターに面接した町有地、②青葉ヶ丘公園の中のグラウンド、③現在の役場庁舎向かいの地域活性化広場その西側の舗装部分一帯を選定し、協議を行ってきました。検討を進めるうちに候補地それぞれの課題も見えてきました。資料１９ページをご覧ください。それぞれ土地の形状ですとか、面積的な部分であったりですとか、都市計画上の制限であったりと、町有地で選定した候補地なんですけど、それぞれ課題が多く、特に町有地②③に整備した場合、今後の公共施設が点在する状況となってしまいます。すみません資料１７ページにお戻りください。１７ページの図面には現在の公共施設の配置なども記載されておりますが、役場庁舎や国保病院、体育館や保健センターなど、町内にいたるところに点在しているのが森町の公共施設の状況となっております。今回は役場庁舎と公民館の方針を軸とした複合施設整備ですけれども、長期的に見ると体育館や町民プールなども更新が必要になってくる施設であると考えております。しかし公共施設を整備するにはいずれの施設においてもそれなりの敷地面積が必要となります。今後の施設の集約化も見据え、所有者の同意を得て、民地を含めた検討を行った結果、④保健センター敷地向かいの森川町民地、⑤さくらの園、新しい保育所建設地の南側の森川町民地も加え、再検討した結果、⑤森川町民地その２を町としましては第１の候補地として選定しました。その理由としまして資料１２ページをご覧ください。基本構想では建設候補地の評価項目を基に各敷地について比較検討を行いました。客観的な比較検討の結果、森川町民地その２が最も評価が高い結果となりました。また町民アンケートや町職員ワークショップにおいて、防災機能の強化や公共施設の集約化、眺望の良い施設望む意見が多数を占めておりました。先程の⑤の候補地は高台に位置していることや、国道５号、国道２７８号及び高速森インターチェンジからもアクセスが良く、森町消防署、町立森小学校、保健センター、令和７年度竣工予定の新しい町立保育所および給食センターなどが隣接していることから、一体が防災拠点になり得ると考えます。また本候補地の右側５号線側の両隣が町有地であるため、この町有地も含めると将来的な公共施設集約化に対応できる十分な広さを確保でき、施設配置の自由度が高くなるといった利点があります。そのようなことから建設候補地⑤の森川町民地そ

の2を第1の候補地として選定したものであります。参考資料としまして23ページをご覧ください。公共施設の集約化のイメージを掲載しています。内容としましては、今整備予定の施設のほか、町民体育館や町民プール、森町国民健康保険病院を集約したと仮定したイメージとなります。資料が白黒でちょっと見にくいと思いますが、線で囲っている森川町の民地を取得することで、それ単体ではちょっと使用しづらい消防側の敷地ですとか消防や給食センターに隣接している町有地ですとか、そちらの方も有効的に活用できることが期待できます。また保健センターや新設の保育所、さくらの園なども近く、公共施設が集約化できる状況となります。ただこれはあくまでもイメージですので、配置や対象施設含め、こうするというふうに決まったものではございませんのであくまでイメージということでご承知おきください。資料24ページをご覧ください。以上のように第1候補地として選定した場所なんですけれども、一方で課題もございまして、まず1点目ですが、候補地が農業振興地域内の農振農用地区域であることであることです。農業振興地域は今後相当期間にわたって農業振興を図るべき地域であり、農用地区域は生産性の高い農地、農業利用を確保すべきものとして指定された区域で、農地の中でも生産性の高い農地のため、宅地などほかの用途に帰ることを厳しく制限されています。ただしこれにつきましては公共施設整備など公用に転用する場合はそこまで厳しい制限はないとのことなんですけれども、ただ指定解除にはそれぞれの時間を要することになります。2点目は第1候補地が民地であるため土地取得のための費用が発生するという点です。3点目は候補地へのアクセスについてです。現在のところ候補地へのアクセスはさくらの園前から国道5号へ抜ける狭い町道しかなく、町施設を整備する際は多方面からアクセス可能となる道路の整備も必要となります。第1の建設候補地としている森川町の民地につきましても、このようにさまざまな課題がありますが、町民アンケートや町民ワークショップでいただいたご提案やご意見を叶えるためにはこの候補地が最適であると考え、選定しております。そして町内に点在している公共施設の集約化は施設を利用する町民の方々の利便性の向上にもつながると思っています。今後もさまざまな課題が発生すると思いますが、一つずつ解決しまして早期整備を目指して行きたいと町は考えています。以上が森町複合施設建設の進捗状況についての説明でございますが、委員の皆さんが把握されている部分もあろうかと思いますが、公民館を含め図書館や体育館といった社会教育や体育などの施設につきまして、現在の状況を教育委員の皆さんにも見ていただきたいと考えております。良ければ後日改めて日程調整を行った上で、そのようにできればと考えておりますがいかがでしょうか。

(毛利教育長)

はい、いかがでしょうか。

(三輪委員)

よろしいと思います。

(毛利教育長)

いろいろと今集約化しようとしてる時に現在の状況はどうかということで、皆さんと一緒に視察した方がいいかと思っています。日程調整は後日させていただきます。それでは戻って、今の説明ですけれども、つまり「こういうものを作ります」とか「ここにこういうものを作ります」という決定まだ何もされていません。より妥当なというか、適切なところに適切な建物ということで調査だとかそれから皆さんの要望・ご意見これを今集めているところと言うことでの進捗状況の説明です。皆さんからここもう少し今聞きたいということがあればおっしゃってください。特に23ページは全くただのイメージ図ですから、こうするとは全く言っていないので。

(須藤社会教育課長(兼)森町公民館長(兼)図書館長)

今の現状の施設と同じような規模で整備したら、面積的にこのくらいになりますというイメージです。まったく確定のものでございません。

(三輪委員)

イメージって大事ですよ。場所がなければ、このぐらいとイメージもそこに入り込めないで、やっぱりさっきおっしゃったように実地で「この場所です」「だいたい予定しているのがこういったものです」みたいなことをやっぱり視察というか、見るとなんとなくまた違ったイメージが出てくると思いますので私はこれでよろしいと思います。

(毛利教育長)

念のため後日調整する視察で回ってる時にこの土地のところも外側からしか見れませんが、一回皆さんで見ることが出来たら良いと思います。現在の状況というか、進んでいる状況ということでよろしくお願いします。よろしいですか。

(教育委員一同「はい」の声)

(毛利教育長)

はい、では協議事項に移ります。議案第1号「令和6年度一般会計補正予算について」です。

(坂田学校教育課長)

はい、議案第1号「令和6年度一般会計補正予算について」ご説明いたします。町長に対し、議案作成方、意見の申出をしようとするものでございます。この補正予算につきましては、第6回目となるものでございます。

歳出についてご説明いたします。7ページをお開き願います。款10教育費、項2小学校

費、目1 学校管理費、8 ページ、節10 需用費の消耗品費300千円の増額補正につきましては、教育事務要覧の加除・追録代金が不足するため補正予算計上するものでございます。修繕料1,400千円の増額補正について、ご説明いたします。要求書右側の内訳に記載している、20の森小学校のボイラー修繕については、ボイラー内部確認用の水面計等が経年劣化しており、交換が必要なため修繕を行うものでございます。30のさわら小学校のボイラー修繕については、マイコン制御盤が40年程度交換しておらず故障する可能性があり、交換が必要なため修繕を行うものでございます。90の小破修繕については、当初予算では不足するため補正予算計上するものでございます。9 ページ、項3 中学校費、目1 学校管理費、10 ページ、節10 需用費の消耗品費300千円の増額補正につきましては、教育事務要覧の加除・追録代金が不足するため補正予算計上するものでございます。修繕料6,250千円の増額補正について、ご説明いたします。10の森中学校のボイラー修繕については、フレキシブルチューブやフレームアイの劣化等があり、交換が必要なため修繕を行うものでございます。20の森中スクールバス5号車については、プレヒーターが水漏れしていることから修繕を行うものでございます。30の砂原中学校の生徒用玄関外壁修繕につきましては、当初予算では不足する見込みとなったので増額補正するものでございます。35の砂原中学校の送水ポンプ交換修繕につきましては、送水ポンプが故障したため交換するものでございます。90の小破修繕については、当初予算では不足する見込みのため補正予算計上するものでございます。11 ページ、項4 幼稚園費、目1 幼稚園費、12 ページ、節10 需用費の修繕料584千円の増額補正について、ご説明いたします。10のさわら幼稚園遊具修繕については、鋼製コンビネーションのロープ・ネット部分がほつれており危険な状況であることから修繕を行うものでございます。20の小破修繕については、当初予算では不足する見込みのため補正予算計上するものでございます。学校教育課分につきましては、説明は以上でございます。

(毛利教育長)

はい、一旦ここで切ります。学校教育課関係について、皆さんからご質問等があればお願いいたします。無ければ了承していただけますか。

(教育委員一同「はい」の声)

(毛利教育長)

はい、それでは了承されたものとします。引き続いて社会教育課関係です。

(須藤社会教育課長(兼)森町公民館長(兼)図書館長)

はい、それでは森町公民館、図書館、社会教育課について説明いたします。歳出についてご説明いたします。13 ページをお開き願います。項5 社会教育費、目2 公民館費についま

しては、191千円の増額をしようとするものです。14ページをお開きください。節10 需用費の修繕料につきましては、森町公民館のプロパンガスボンベ保管庫が経年劣化による壁面の一部にコンクリートの剥離が発生しています。このため補修を行おうとするものでございます。また2階講堂の出入り口にある避難誘導灯につきましても経年劣化により蓄電池が充電できない状況となっております。その為修繕しようとするものです。

18ページをお開き願います。目3 図書館費についてですが、当初備品の減額補正を行う予定でしたが、減額補正のみであるため、森町議会9月会議への提出を取りやめることといたしました。そのため申し訳ございませんが今回の資料からの17ページ、18ページを削除していただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

19ページをお開き願います。目4 文化財振興費につきましては、495千円の増額補正をしようとするものです。20ページをお開き願います。節12 委託料の鷺ノ木遺跡路面測量業務委託料ですが、今年度鷺ノ木遺跡の整備のための実施設計を行っておりますが、その中で人や車いす用の園路の設計に必要となる部分の測量を行おうとするものです。場所は現在の鷺ノ木遺跡の主たる入り口となっている遺跡の山側のゲート付近となっております。説明は以上になります。

(毛利教育長)

はい、社会教育関係でございました。皆さんから質問等ございましたらお願いします。

(三輪委員)

公民館のプロパンガス保管庫の修繕、これは早急にやってください。これから台風とか来ますよね。あの状態でしたら、今はきちんと管理されてるでしょうけれど、そういうことも考えて、早急に対応いただいてよろしいでしょうか。

(毛利教育長)

承知しました。議会で議決後早急に取り掛かります。

鷺ノ木遺跡の更改に向けた整備についても、だいたい粗々の計画は出来ていまして、それに向けて進んでいくところです。よろしければ了承してよろしいですか。

(教育委員一同「はい」の声)

(毛利教育長)

はい、ありがとうございます。それでは次に体育課関係です。

(木村体育課長(兼)体育館長(兼)青少年会館長(兼)生涯学習課長)

それでは生涯学習課に係る補正内容についてご説明いたします。資料は16ページをお

開き願います。こちら公民館費についてですが、節10需用費の修繕523千円の補正についてご説明いたします。森町砂原公民館浄化槽用ブロワー交換修繕の499,400円につきましては、砂原公民館に設置しております浄化槽用ブロワーが経年劣化により動作不良が生じているため、ブロワー1機の見替修繕を行おうとするものでございます。続きまして森町砂原公民館会議室照明器具修繕23,100円につきましては、砂原公民館の第1会議室に設置しております照明器具1機が経年劣化に伴う故障のため、今回見替修繕を行おうとするものでございます。生涯学習課に係る補正内容は以上となります。引き続きまして、体育課の補正内容につきましてご説明申し上げます。資料22ページをお開き願います。こちら体育施設費についてでございますが、節10需用費の修繕料389千円の補正内容につきましてご説明いたします。上段から町民プール男子シャワー用電磁弁見替修繕192,500円につきましては、町民プール男子シャワーが電磁弁故障により使用できなくなっているため、今回電磁弁の見替修繕を行うものでございます。続きまして町民体育館ボイラー温度センサー見替修繕92,800円につきましては、町民体育館暖房ボイラーの温度センサーが経年劣化により不具合が生じているため、この度温度センサーの見替修繕を行うものでございます。最後に町民体育館電気スイッチ・コンセント修繕99千円につきましては、町民体育館内の照明スイッチおよびコンセントが経年劣化により不具合が生じていることにより、今回見替修繕を行おうとするものでございます。体育課に係る補正内容は以上となります。よろしくお願いいたします。

(毛利教育長)

はい、生涯学習課、体育課関係ですが、いかがでしょうか。ご質問等願います。

(三輪委員)

経年劣化によるものが多いということですので、対応いただくようお願いいたします。

(毛利教育長)

なかなか耐用年数が過ぎても正常に動いていれば我慢して使用していることもございますけれども、さすがにこれは取り換えないと危ないということが量にして出てきているんですよね。それでは生涯学習課、体育課関係につきまして、ご承認いただけますでしょうか。

(教育委員一同「はい」の声)

(毛利教育長)

はい、ありがとうございます。引き続きまして森町学校給食センターの関係です。

(敦賀森町学校給食センター長)

それでは給食センターの部分についてご説明します。23ページをお開き願います。学校給食費の節10需用費の修繕料です。①廃水处理施設原水槽ポンプ交換修繕335,500円ですが、貯水槽に汚水を送っているポンプが断線し支障が発生していることから修繕するものでございます。同じく②調理機器等修繕一式200千円ですが、急な修繕等に対応するため予算計上しております。同じく③貫流ボイラー2号機缶体交換修繕3,313,541円ですが、ボイラーの缶体といいまして、中の缶が腐食して水漏れが生じていることから修繕するものでございます。説明は以上となります。

(毛利教育長)

はい、給食センター内の施設・備品関係ですけれども、よろしいでしょうか。給食を止めるわけにはいかないですので、了承いただけますでしょうか。

(教育委員一同「はい」の声)

(毛利教育長)

はい、ありがとうございます。では以上で議案第1号「令和6年度一般会計補正予算について」を終わります。

続きまして、議案第2号「令和6年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について」です。

(坂田学校教育課長)

議案第2号「令和6年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について」をご説明いたします。例年実施しています、全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」に森町の結果を掲載することについて同意を頂くものであります。26ページをお開き願います。結果公表に関する道教委の考え方としまして、道教委の説明責任、町教委の説明責任の基本的な考え方を記載しております。27ページには具体的な公表のしかたの考え方を記載しております。28ページには令和5年度に実際に公表しました、内容を添付してございます。今年度もこのような形で公表しようとするものでございます。以上でございます。

(毛利教育長)

はい、間違いがあったら課長からも指摘してほしいんですけども、要は道教委が全部(結果を)集めて道教委がホームページ上で公表するという形を道教委からは各市町村で「町の状況についてはそちらで公表してます」という風につながるように、案内する形に変えたいということでございます。よろしいでしょうか。

(教育委員一同「はい」の声)

(毛利教育長)

では第2号についてはご了承いただいたものとして、道教委に報告したいと思います。
続いて議案第3号「教育委員会の令和5年度事務事業の点検・評価報告について」です。

(坂田学校教育課長)

はい、議案第3号「教育委員会の令和5年度事務事業の点検・評価報告について」ご説明いたします。なお、この点検・評価につきましては、公表するものでございます。学校教育課から順に、各課担当者よりご説明いたします。

(吉田学校教育課学校教育係長)

それでは、議案第3号 教育委員会の令和5年度事務事業の点検・評価報告についてご説明いたします。別冊の1ページをご覧ください。外部点検・評価者について記載しております。学校教育課・幼稚園に関する事業の外部点検・評価者は、学識経験者の山田活美さんをお願いしております。

それでは、2ページをご覧ください。学校教育課・給食センターに関わる事務事業一覧表になっております。全て、おおむね「4. 良好」ということで外部評価をいただいております。

次に3ページをご覧ください。右側に事業名、下段に外部評価の内容やコメントが書かれております。教育水準向上対策事業につきましては、おおむね「4. 良好」ということで評価をいただいております。今後も、学校教育部、社会教育部の連携を強化しながら進めてまいります。

次に4ページをご覧ください。スクールバス運行事業につきましては、スクールバスが年々老朽化してきている状況であります。特に森中学校のスクールバスにつきましては、老朽化の進んでいる車輛もあり、今後もスクールバスの状況をみながら、必要に応じて修繕対応をし、古いスクールバスについては、計画的に更新をしていく計画でございます。

次に5ページをご覧ください。児童・生徒各種競技会参加補助事業につきましては、「4. 良好」ということで評価をいただいております。各種競技大会への参加費や交通費、宿泊費などを助成しております。引き続き、予算を確保しながら充実を図ってまいります。

次に6ページをご覧ください。経済的な理由を有する児童生徒の就学支援事業につきましては、「4. 良好」ということで評価をいただいております。奨学金の貸付と、要保護及び準要保護者に対して、学用品費の援助を行っております。今後も社会情勢に応じて、支援体制の充実と財政面での予算の確保に努め、継続して行なってまいります。

次に7ページをご覧ください。特別支援教育の推進事業につきましては、「4. 良好」ということで評価をいただいております。特別支援教育支援員を9名配置しております。今後

も、支援が必要な児童生徒がいることから、支援員の配置の継続や支援内容や消耗品や備品などの整備の充実を図ってまいります。

次に8ページをご覧ください。英語指導助手招致事業につきましては、「4. 良好」ということで評価をいただいております。今後も2名体制を維持し、外国語教育の充実を図ってまいります。

次に9ページをご覧ください。学校保健の充実事業については、「4. 良好」ということで評価をいただいております。引き続き、健康の保持増進のため、児童生徒及び教職員の健康診断を行い、心身ともに、安心して学習に取り組めるよう進めてまいります。

次に10ページをご覧ください。幼児教育の充実については、「4. 良好」と評価を頂いております。今後も、豊かな幼児期を過ごせるよう、更なる子育て支援の充実に努めてまいります。学校教育課の説明は以上でございます。

(毛利教育長)

はい、ここで一旦区切ります。それでは学校教育関係の点検・評価報告を行いました、これに関して皆さんから質疑等ございましたらお願いします。

(三輪委員)

「良好」という評価が、「的確」に近い「良好」なのか、あるいは本当に単なる評価の中で単純に「良好」なのかという部分がどうなのかと。努力の部分をもう少しここに反映してくださればと思います。

(毛利教育長)

評価の仕方についてということですね。

(三輪委員)

はい。安心したんですよね、「良好」という評価を得て。見ている私たちからしてみると。

(毛利教育長)

一応やるべきことはやっているということではあるんですけども、積み残しがあるだとかそういう状態ではないので、そういうことでの「良好」だと思われるんですけども。

(三輪委員)

はい、そうとは理解しております。

(毛利教育長)

他の方よろしければ、学校教育課関係を終わります。

続いて給食センターです。

(敦賀森町学校給食センター長)

給食センターの部分についてご説明いたします。資料11ページをご覧ください。給食センターの外部点検・評価者は森町学校給食センター運営委員会会長の砂原中学校の田中校長をお願いしております。

事業名は、「学校給食を通した食育の推進事業」で、事業内容は③の食に関する正しい知識や望ましい食習慣の育成と学校給食の管理及び充実です。また、下の方の点検・評価にあたって特記する事項に記載がありますが、栄養教諭の配置による食に関する指導の実施や、安全・安心な食材の購入で地産地消の取り組みを行っております。評価者からの評価結果として、栄養教諭による食に関する指導は子供たちの基本的な生活習慣の確立の面で大変効果的である。また、地産地消による新鮮な食材の確保、生産状況の確認による安心感、自然や生産者への感謝の心をはぐくむなど、子どもたちが地元を知る機会となるなどの観点から地産地消の活用は評価できる。しかしながら、安心安全な給食の安定供給のため、調理機器の計画的な更新に向けた財政面の充実が求められるとの指摘を受けました。総合評価は「4. 良好」となっておりますが、今後も、安心安全な給食の安定供給をし、さまざまな工夫を加えながら事業を継続していきたいと思っております。説明は以上となります。

(毛利教育長)

はい、どちらかというと栄養教諭の担当する分野に対する評価でございます。よろしいでしょうか。

(教育委員一同「はい」の声)

(毛利教育長)

はい、それでは給食センターの部分は以上でございます。次に社会教育課の関連です。

(加藤社会教育課社会教育係長)

続きまして、社会教育課・公民館事業についてご説明いたします。資料1ページをお開き下さい。社会教育課・公民館事業の外部点検・評価者は、社会教育委員15名、文化財事業に関しては、文化財調査委員5名をお願いしております。

12ページをお開き下さい。社会教育課に関わる事務事業一覧になっております。おおむね「4. 良好」という事で外部評価をいただいております。

13ページをお開き下さい。「成人式式典事業」について、令和5年度より会場を森町公民館からバリアフリーとなっている砂原公民館へ変更して実施しております。新成人及びご家族の協力により円滑な式典運営を図る事ができました。実績といたしましては、新成人71名、来賓・主催者40名及び保護者等80名の合計191名が来場しております。総体評価については、「4. 良好」の評価をいただいております。

14ページをお開き下さい。教対協社会教育部 心を育てる活動班事業の「ふれあい体験教室」につきましては、町内小学校3年生～6年生を対象に計8回実施しております。登録児童数23名、延べ参加児童数が129名となりました。地域団体を活用した企画運営を行い参加児童と地域住民との交流が図られました。総体評価は「4. 良好」の評価をいただいております。今後も子供たちが楽しみながら活動できる事業内容を検討しながら継続していきたいと考えております。

15ページをお開き下さい。芸術鑑賞事業「Winter Classic Concert」について、昨年度に引き続きクラシックコンサートを実施しました。総体評価は「4. 良好」の評価をいただいております。今後も町民のみなさんに楽しんでもらえるよう、様々なジャンルでの芸術鑑賞事業を継続していきたいと考えております。

16ページをお開き下さい。「もりの寺子屋事業」について、夏休み・冬休み序盤の午前中に子どもたちが自主学習・自由研究を行うことにより、家庭学習の習慣化及び基礎学力の向上を図ることを目的としております。また、退職教員や教対協社会教育部及び高校生等を講師として活用する事で地域人材の発掘と育成も行っております。総体評価は「4. 良好」の評価をいただいております。

17ページをお開きください。「森町文化協会補助事業」については、文化祭や俳句大会の開催及び道民芸術祭渡島管内祭に参加しました。文化祭については、森地区・砂原地区合同で森町公民館で開催し、活動成果を町民に披露する機会を提供できました。道民芸術祭について、令和5年度においては、舞台発表が砂原公民館で実施されました。総体評価は「4. 良好」の評価をいただいております。

18ページをお開きください。「社会教育関係教材冊子配布事業」です。森町内の自然散策や歴史探索に触れる機会を提供し、健康維持と家庭内交流の促進を図る事を目的としております。配布実績は5件となり、総体評価は「3. 妥当」の評価となりました。当該事業においては、今後PR方法等を再検討していきたいと考えております。

19ページをお開きください。「もりっこまつり事業」です。親子揃って多数の参加がありました。今後も継続していきたい事業と考えております。総体評価は、「4. 良好」をいただいております。

20ページをお開きください。「静岡県森町友好親善事業」です。和5年度については、静岡県森町へ研修生4名を派遣しております。今後も関係団体や静岡県森町と連携しながら継続していきたいと思っております。総体評価については「4. 良好」の評価をいただいております。

21ページをお開きください。「国際交流のつどい事業」です。留学生3名が来町し、ホストファミリー3家庭にご協力をいただきました。今後も交流内容を充実させ他国の文化や習慣を学ぶ機会を提供していきたいと考えております。総体評価は「4. 良好」と評価されております。次に文化財保護係の説明員に交代いたします。

(須藤社会教育課長(兼)森町公民館長(兼)図書館長)

それでは文化財保護係分説明させていただきます。外部評価は文化財調査委員6名に実施いただいております。資料22ページをお開きください。鷺ノ木遺跡見学会になります。町内外一般を対象に7月から10月までの土日祝日のうち15日間で1日3回一回あたりの定員20名で鷺ノ木遺跡の現地案内を行っているものです。実施状況は15日間で39回の実施、243名の参加がありました。ある程度のニーズには対応できたという風に考えております。外部の相対評価は「4. 良好」であり、町内の方々の興味関心を引き付けるよう周知していることを考えていきたいと考えております。23ページをお開きください。遺跡発掘調査事務所研究室公開です。7月から10月は見学会を増やす目的で土日祝日の臨時会館を実施したところ、年間では前年度より若干減少しておりますが、来場者数、見学者数は1,094人となっております。外部の相対評価は「4. 良好」であり、今後も見学や学習の機会のより一層の提供を行っていきたいと考えています。24ページをお開きください。町内で行いました遺跡発掘調査の報告会です。当年度に実施しました鷺ノ木遺跡の発掘調査内容をいち早く町民の方向けに公開するため、2月14日に実施しました。参加者は10名となっております。外部の総体評価は「4. 良好」であり、今後の実施は他の媒体での公開も考慮しながら公開を検討して行きたいと考えております。25ページをお開きください。文化財講座です。今回は北海道・北東北の環状列石、北海道指定文化財「鯉供養塔」、町の郷土資料についてその価値や魅力を紹介しました。参加総数は20名となっております総体評価は「4. 良好」であり、より多くの参加者が来るよう、興味関心のあるテーマや周知方法の向上につとめていきたいと考えております。社会教育課に係る事業は以上となります。

(毛利教育長)

はい、社会教育課関連で皆さんからご質問等お願いします。よろしいですか。

(教育委員一同「はい」の声)

(毛利教育長)

はい、では引き続き公民館お願いします。

(岩本森町公民館管理係長(兼)事業係長)

公民館事業についての説明をします。令和5年度の森町公民館事業につきましては、コロナ禍以前同様に開催しました。大まかに分類すると、2事業、公民館講座が3教室、文化講演会2教室を実施しました。事業評価シート27ページをお開きください。「公民館講座」として、1つ目「オニウシ学園」は生涯学習の一環とし、一般教養や趣味などを楽しみながら学習する機会を目的とし、健康で生きがいのある生活を送ることを目的として開催。開催回数は10月から12月まで6回開催。体操、バス研修、木工教室、料理教室などを開催しました。参加対象者は60歳以上の町内の方。延べ参加人数は138名となります。次は「女性学級」です。「女性学級」は、学習目的は先ほどのオニウシ学園と同様で、こちらはタイトルに女性とあることから、町内の参加者を女性限定とし、実施開催回数は6月から11月までの期間で全8回実施し、事業内容はオニウシ学園と同様となります。延べ参加人数は124名となりました。「母親学級」です。「母親学級」につきましては家庭学習の一環とし、子育てに携わる母親の悩みや、不安を共有できる環境の場を提供することを目的に開催しました。3月24日に「親子ふれあい教室」を実施し、参加家族合計11名の参加がありました。外部総体評価は全3事業共に「4.良好」をいただいております。今後も参加者や町の特色に合わせた講座や教室を実施する予定です。続きまして事業評価シート28ページの「森町文化講演会」についてです。こちらの事業は、「森町文化講演会」と称し、著名人を講師に招き、文化祭行事の一環として講演会を実施することにより、地域住民の文化振興、生涯学習に対する意識高揚を図ることを目的に実施しております。令和5年度は12月1日に講談師の田辺 鶴英さんを講師に招き、「介護のお悩みについてお答えします」を実施しました。参加人数68名の参加をいただきました。2月9日に食文化の信仰ということで、講師に東部百貨店のバイヤー内田 勝規氏を招き、一般町民はもとより、町内の農業・漁業・水産業の関係者の参加をいただき、総勢70名の参加をいただきました。外部評価は「4.良好」の評価をいただいております。説明は以上です。

(毛利教育長)

はい、公民館関係の説明でした。皆さんからご質問等ありましたらお願いします。よろしいでしょうか。

(教育委員一同「はい」の声)

(毛利教育長)

それでは以上の評価とします。続きまして生涯学習課関係です。

(山谷生涯学習課生涯学習係長)

続いて生涯学習課の事業につきまして、ご説明いたします。資料1ページをお開きください。生涯学習課の外部点検評価者につきましては、社会教育委員の佐藤真喜子さま、三戸明子さまの2名に評価をいただきました。

続きまして、29ページをお開きください。生涯学習課では8事業につきまして、評価を行いました。外部評価の結果につきましては、「4. 良好」または「3. 妥当」ということになっております。

30ページをお開きください。「実年大学」事業では、砂原地区在住の高齢者を対象に健康づくり教室や工作教室など計6回開催しました。

31ページをお開きください。「夏休み子ども工作展」事業については、町内の小学生を対象とし、令和5年度は123点の出展がありました。今後も参加促進を図りたいと思います。

32ページをお開きください。「どろんこ塾」については、町内在住の小学生を対象にした事業で、計6回実施しました。

33ページをお開きください。「子どものひろば」は、砂原地区の幼稚園児・小学生を対象にした事業で、計5回実施しました。今後も周知方法の工夫をして参加者増に努め、継続したいと思います。

34ページをお開きください。「モデルロケット教室」では、町内在住の小学生を対象にした事業で、物づくりの楽しさや科学に対する興味を深めるため、今後も継続したいと思います。

35ページをお開きください。「書き初め席書大会」については、町内の小中学生を対象に実施しております。日本の伝統文化に触れる良い機会だと考えられますので、継続したいと思います。

36ページをお開きください。「あったかさわらパークゴルフ大会」は町内在住者限定の大会で、39名の参加がありました。

37ページをお開きください。「あったかさわら道南パークゴルフ大会」は、道南在住者対象の大会で、66名の参加がありました。参加者の交流も図れるため、今後も継続していきたいと思います。以上です。

(毛利教育長)

はい、以上生涯学習課関係でございます。質問・ご意見等ございましたらお願いします。よろしいでしょうか。

(教育委員一同「はい」の声)

(毛利教育長)

それでは以上の点検評価とします。続きまして図書館関係お願いします。

(長瀬森町図書館次長)

それでは図書館事業についてご説明申し上げます。評価した者については1ページに記載しておりまして、図書館協議員7名が評価しております。それでは戻りまして38ページをお開きください。令和5年度は8つの事業の点検評価をあげました。結果としては、「図書館資料整備事業」と「子ども読書の日事業」が「3. 妥当」、その他の6事業が「4. 良好」です。

それでは39ページをお開きください。「図書館資料の整備事業」です。これは図書資料を収集し、提供することによって学習機会の充実を図るということで、これは蔵書だとか雑誌の購入に関するところです。評価は「3. 妥当」ですけれども、これからも古い本の除籍を進めつつ、本の館内整理を進め、利用しやすい図書館を目指してまいりたいと思います。

40ページをお開きください。「移動図書配本事業」です。図書館から離れているためになかなか利用できない住民、特に子供を中心に気軽に本を読んでもらうよう、配本所を設置しました。令和5年度は11か所に設置したんですが、令和6年3月をもって駒ヶ岳小学校、尾白内小学校が閉校となったことから、令和6年度については9か所となっております。評価は「3. 妥当」ですけれども、ニーズを元に配本所を検討していきたいと思っています。

41ページをお開きください。「子ども読書の日事業」です。子供たちの事業です。より幅広い分野の図書を用意して、「子ども読書の日」あるいは「子どもの読書週間」に向けて図書館からのお知らせというものを作成して配布して、読書啓発を図ってまいりました。評価は「3. 妥当」ですけれども、PR方法を工夫しながら実施してまいりたいと考えております。

42ページをお開きください。「ブックスタート事業」です。これは赤ちゃんと保護者が絵本を介した心ふれあうひとときを持てるよう、保健センターで行われている3か月健診時に実施しております。評価は「4. 良好」ですけれども、今後も好評ですので継続して実施していきたいと考えております。

43ページをお開きください。「図書館まつり事業」です。これは昨年5月にコロナの感染症が5類感染症に移行したということで、令和5年度は4年ぶりに1日日程で冬に開催しました。2日間に今まで冬に開催した時期を除く4年前までは夏場にやっていたんですけれども、この数年来の暑さ、特に去年は猛暑だったこともあって、10月29日の秋口にずらして開催しました。従来行ってきた本の交換の提供市、折り紙工作、そして絵本の読み聞かせ、くじ引きに加えて、新たに図書館の業務体験を新たに実施しました。そう

すると小学生4人が参加して好評でした。評価は「4. 良好」でしたが、これからも内容の充実を図って実施したいと考えております。

44ページをお開きください。「出張図書館事業」です。これまで「出張おはなし会」というものをメインに実施してきたんですけれども、令和5年度から「出張図書館」の中に今までの「出張おはなし会」ともう一つ図書館行事をメインとした「出張図書館」というのを2つ加えて、合わせて「出張図書館事業」として実施しました。まず「出張おはなし会」については、1月19日に当館の司書がさわら幼稚園へ訪問し、2月9日には、読み聞かせボランティアを森幼稚園へ派遣して実施しました。一方の「出張図書館」については、9月22日に駒ヶ岳保育園でボードゲーム、そして10月11日にはこひつじ保育園でおりがみとボードゲーム、こひつじ保育園については講師、そして両保育園については職員が出向いて実施しています。評価は「4. 良好」ですが、これからも感染症の状況踏まえて、実施して行きたいと思います。

45ページをお開きください。「図書館システム導入整備事業」です。当館実は外出貸出管理業務は今まで手作業でした。そのために、蔵書数はもとより、蔵書の有無の確認に時間を要するなど、利用者のニーズに十分な対応ができない状態でした。このため、蔵書管理及び利用者の利便性の向上を図ることを目的に、国の補助金を活用して図書館システムを導入しました。稼働の開始は年度末の3月でシステムの導入に伴い貸出の管理業務がシステム化され、手作業は無くなりました。そして利用者カードも今までは年度ごとに切り替えていたのですが、これも恒久化されて、利用者のインターネットによる蔵書検索予約、これは図書館外でもできるようになったということで、サービスの向上が図られました。評価は「4. 良好」ですが、これからもさまざまな事業・サービスの向上について検討して行きたいと思います。

最後46ページです。「館内図書館行事」ということで、今回記載しております。大きく言って1つ目は「あそびの広場」、2つ目が「押し花教室」、3つ目が「ボードゲームをやってみよう!」ということで3つに分けています。「あそびの広場」というのは毎年やっております、昨年度は昨年12月と2月にそれぞれお正月とクリスマス为主题としたもの、そしておはなし会と紙飛行機を作った遊びの企画を実施しました。2つ目は、「押し花教室」で、押し花のインストラクターを講師に、キーホルダーと図書館で配布しているしおり作りをしました。3つ目は「ボードゲームをやってみよう!」これは出張図書館でも出てきましたけれども、実は外国の図書館ではボードゲームが必携であって、日本国内でも2010年以降に導入する図書館が増えていることを踏まえて、当館でもボードゲームを使った行事を実施しました。評価は「4. 良好」なんですけれども、実施方法や周知方法に配慮しながら進めてまいりたいと思っています。図書館の事務・事業の点検結果の報告は以上でございます。

(毛利教育長)

はい、皆さんからご質問等ございますか。よろしいでしょうか。

(教育委員一同「はい」の声)

(毛利教育長)

それでは図書館の部分を終わります。続きまして体育課お願いします。

(葛葉体育課体育係長)

続きまして体育課の事業につきまして、ご説明いたします。47ページをお開き下さい。体育課の外部点検評価者は、森町スポーツ協会高山会長、他3名に評価をいただきました。体育課については、6事業につきまして評価を行い、結果については総体すべて「3. 妥当」という評価をいただいております。

48ページをお開き下さい。各事業シートの説明につきましては、目的と事業概要のみ説明させていただきます。自主スポーツ活動の推進事業ですが、各種競技団体等、町民のスポーツ活動の支援を目的としております。事業内容でございますが、町民体育館・サンビレッジ森・青少年会館等の貸館です。令和5年度については、森町民体育館施設改修工事に伴いアリーナを7月1日から1月22日の期間において利用不可としました。当期間、町民体育館のアリーナ利用ができないことから、利用団体については、サンビレッジ森や学校開放での利用をお願いする形で対応にあたりました。また、令和5年度森町民プールについては、ろ過機設備の不具合により開放することができませんでした。各体育施設の利用状況は、全体で前年度と比較して、2,030名の増となっております。

49ページをお開き下さい。「スポーツ少年団育成事業」ですが、スポーツ少年団の活動を中心に、団の自主運営とその育成指導を図ることを目的としています。令和5年度の少年団数は11団体、団員数は203名となっております。主な事業内容として、各少年団主催の近隣市町大会の開催、各少年団の全道・全国大会への参加負担金や、森町スポーツ少年団への補助金交付を行っております。

50ページをお開き下さい。「教対協社教部健康を作る活動班事業」ですが、町民の健康、体力づくりの推進を目的として、各種事業の実施に対しまして協力しております。令和5年度の班員数は12名となっております。主な事業内容と参加人数は、森町老人クラブ連合会との共催事業である「町民グラウンドゴルフ大会」で29名、森町体育協会との共催事業である「オニウシ公園周回マラソン」で146名、「冬季スポーツフェスティバル」は128名の参加、「小学生玉入れ大会」は120名の参加となっています。

51ページをお開き下さい。「スポーツ協会補助事業」ですが、スポーツの振興と加盟団体の充実をはかり、住民の健康増進に努めることを目的としております。令和5年度加盟団体数は14団体、協会員数は416名となっております。主な事業内容は、オニウシ

公園周回マラソン大会、冬季スポーツフェスティバル、町民玉入れ大会、各協会主催の町民大会となっております。

５２ページをお開き下さい。「学校開放事業」ですが、学校教育に支障のない範囲で学校の施設を開放し、地域スポーツ等の振興及び子供の安全な遊び場を確保することを目的としております。学校別の体育館開放数及び利用人数については、それぞれ資料に記載とされておりありますが、主な利用団体は、各少年団及び町内のサークルとなっております。

５３ページをお開き下さい。「青森県外ヶ浜町交流事業」ですが、当町と友好町である青森県外ヶ浜町とスポーツ交流を通じて、両町の親睦を図ることを目的としております。令和５年度は１０月９日に４年ぶりに「龍飛・義経マラソン 2023」が開催され、森町から選手７名が参加いたしました。体育課からは以上です。

(毛利教育長)

はい、皆さんからご質問等ありましたらお願いします。よろしいでしょうか。

(教育委員一同「はい」の声)

(毛利教育長)

それでは体育課の報告を終わります。以上、長時間にわたって昨年度の教育委員会所管の主な事務・事業の点検評価についてお話ししましたが、通して何かご質問等ございますか。なかなか一つ一つの事業を詳しく述べるまでに至りませんが、それぞれの所管でこのような事業をこなしていて、このような状況であるということで、お伝えしました。よろしいでしょうか。

(教育委員一同「はい」の声)

(毛利教育長)

それでは以上、皆さんの了解を得たということで、進めたいと思います。

それではその他の事項ということで、事務局からございますか。

(西川学校教育課総務係長)

ありません。

(毛利教育長)

それでは皆さんから何かございますか。

(教育委員一同「ありません」の声)

(毛利教育長)

はい、それでは以上で令和6年第8回森町教育委員会を終了します。